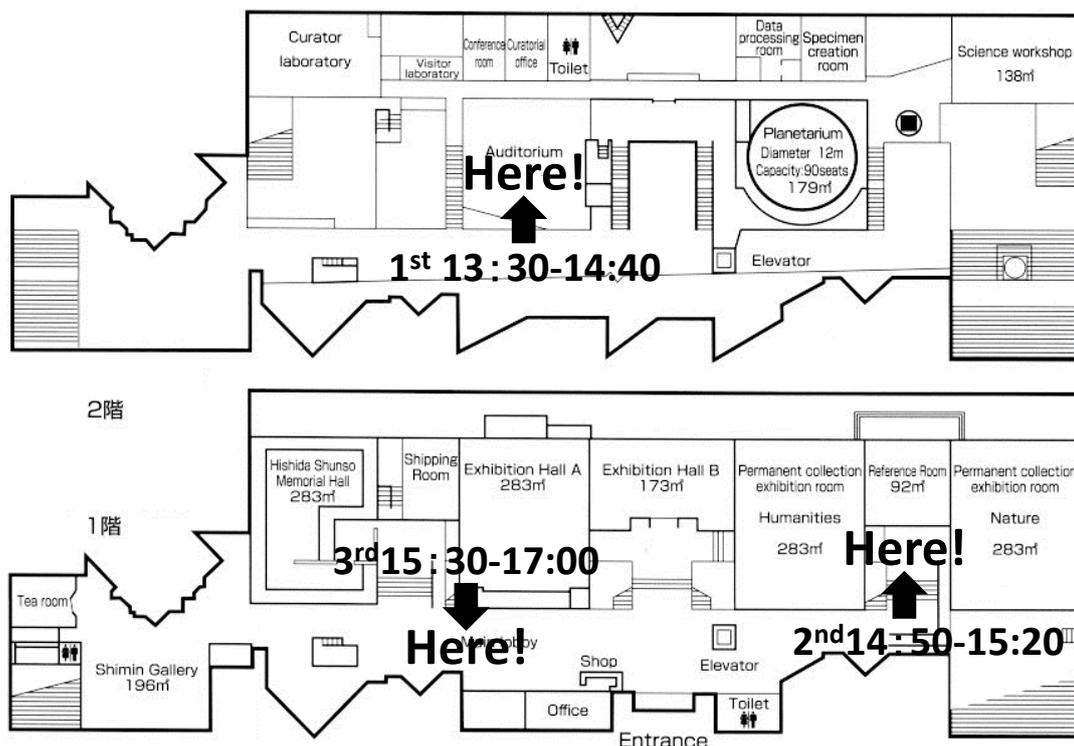


Iida City Museum Presents

# 第12回 びはく学芸祭

2020.2.2 [SUN] 13:30 → 17:00



事前申込み不要。参加費一五〇円

## Architecture

### 1st 口頭発表 (講堂) 学芸スタッフによる研究報告

- ◆ 四方圭一郎 (本館学芸員) 「2900mの標高差が育んだ伊那谷の生物多様性」
- ◆ 織田顕行 (本館学芸員) 「仏教関係の文化財をめぐる現況と今後」

### 2nd 展示解説 (自然・文化展示室)

- ◆ 新しい展示の見どころを紹介

### 3rd ポスター発表 (ロビー)

- ◆ 学芸スタッフ・市民研究団体によるポスター形式の研究発表
- ◆ ポスター掲示期間: 1/25~3/1 ロビー

美術博物館の学芸スタッフと市民の交流会です。お気軽にご参加ください。

## Location



# プログラム

開会・趣旨説明 ..... 13:30～13:40

口頭発表 (講堂にて、各30分) ..... 13:40～14:40

四方圭一郎 (本館学芸員) 2900mの標高差が育んだ伊那谷の生物多様性  
織田顕行 (本館学芸員) 仏教関係の文化財をめぐる現況と今後

展示解説 (自然・文化展示室にて、各15分) ..... 14:50～15:20

四方・織田 (本館学芸員) 新しい展示の見どころについて

ポスター発表 (ロビーにて、概要説明後に意見交換) ..... 15:30～17:00

## 【自然分野】

小泉明裕(本館学芸員)・ 阿南町の富草層群(約1800万年前)から  
牧内文隆(おひさま進歩エネルギー) 日本初産出のパレオパラドキシア亜成獣下顎骨化石

村松 武(本館専門研究員) 美博に寄贈された寺平火山灰コレクション

田中 良(本館専門研究員) 天龍村神豊太陽鉱床のTiO<sub>2</sub>鉱物と熱水変質作用

米山富和(本館専門研究員) ガビチョウが伊那谷で分布拡大中

吉住千亜紀(本館天文研究員)・ 「飯田・宇宙教育」の取り組みと今後の展開  
島田大輔(飯田市教育委員会) ～飯田市美術館プラネタリウムの役割を考える～

川手俊美(本館専門研究員) プラネタリウムから実際の星空へと興味を深めてもらうために

## 【人文分野】

池戸通徳(本館副館長) 飯田電燈株式会社(松川第一発電所)について

青木隆幸(本館専門研究員) 明治初期飯田下伊那の町村地図

櫻井弘人(本館専門研究員) 霜月神楽における湯立とは何かー湯の父・湯の母と産湯ー

今井 啓(伊那民俗学研究所) 機染業の盛衰ー飯沼の民俗調査よりー

松上清志(伊那民俗学研究所) 残された写真から地域の民俗を読み解くー第3回伊那民俗研究集会からー

原 董(伊那谷地名研究会) 地名から繙く伊那谷の自然・歴史・文化ー地名は地域文化の伝道体ですー

市澤英利(考古館館長) 考古学から見る地形区分

吉川金利(本館学芸員) 縄文土器の魅力パートIIー10/12ミニシンポジウムからー

## 【美術分野】

槇村洋介(本館学芸員) 原蓬山と陶淵明

小島 淳(本館学芸員) 春草晩年の交友録ー『大乘院様霊前供物到来控帳』を読むー

松井美保  
(元長野県信濃美術館学芸員) 菱田春草《六歌仙》に見る「装飾」と「写真」

上記は2020年1月7日時点の発表題目です。内容・順番が変更となる場合があります。

閉会 ..... 17:00